

SCCJセミナー

生活者に愛される「心地よさ」をデザインする
～処方化技術、感性工学、心理学からのアプローチ～

午前の部

午後の部

10:30
～
10:35
開会の挨拶 セミナー委員長 植田 光一

「化粧品触感のダイナミクス」
一指・製剤・肌の相互作用に着目して一

花王株式会社 小島 晴予氏

10:35
～
11:15
化粧品の触感、製品の購入や嗜好に影響を与える重要な感性価値の一つである。触感とは、「ふれる」という能動的動作を介して認知されることから、人が触感を感じている際の指一製剤一肌の間で生ずる動的挙動（ダイナミクス）に踏み込んで検討する必要がある。今回、指上に違和感なく装着できるワイヤレス慣性センサを応用した指の動きの計測手法の紹介及び、計測データと化粧品触感との関連性等について報告する。

特徴的な触感をもつ乳化製剤
一 固体粒子を利用した乳化技術

株式会社資生堂 関根 知子氏

11:15
～
11:55
化粧品は毎日使うものだけに、効果はもちろん、気持ちよさや楽しさといった感性に訴える要素も欠かせない。界面活性剤フリー製剤の一つである粉末乳化法は、乳化剤の物理的特性だけでなく、感面でも界面活性剤乳化と異なる特徴を有する。粉末乳化と界面活性剤乳化の違いと、それらを組み合わせて調製したマルチプルエマルジョン、気泡を含んだクリーム基剤など、誰が触っても違いがわかる、変わった？触感の基剤を紹介する。

11:55
～
13:10
昼食休憩

■日時 2019年2月21日(木)
10:30～18:30(受付開始:10:00予定)

■会場 きゅりあん(品川区立総合区民会館)
<http://www.shinagawa-culture.or.jp>
セミナー:8階 大ホール
フリーディスカッション:7階 イベントホール

■主催 日本化粧品技術者会
TEL 045-590-6025

■参加費 会員:13,000円/一般:19,000円
当日受付(会員・一般共に)19,000円

■申込期間 2019年1月7日(月)～2月7日(木)
23時59分(Web参加申し込み)

詳細 ⇒ <https://www.sccj-ifsc.com>

ワックスオイルゲルに着目した好感触口紅の開発

株式会社コーセー 宇田川 史仁氏

13:10
～
13:50
「発色」や「ツヤ」、「使用感」は口紅の基本品質であり、バリエーションに富んだ品質が求められている。特に近年では滑らかな使用感のニーズが高まっており、それを実現するためには、口紅の基本骨格となるワックスオイルゲルの制御技術が不可欠となっている。本講演では、口紅におけるワックスオイルゲルについて解説するとともに、更に微細なワックス結晶構造を制御し好感触を実現したナノ構造制御技術などを紹介する。

保湿性と触感に優れたスキンケア洗浄剤の開発

ライオン株式会社 鈴木 孝直氏

13:50
～
14:30
現在、市場には保湿を訴求する皮膚洗浄剤が多い。しかし実際は、半数以上の女性がボディソープの保湿効果に不満を感じている(2015年,当社調べ)。原因を、保湿成分の多くが、すすぎ時に洗い流されているためであると推測した。本セミナーでは、シャンプーのコンディショニング機能発現の技術に着目し、アニオン性界面活性剤とカチオン性高分子を組み合わせ、肌の保湿性や触感が向上した事例について、メカニズムや生活者の評価、技術の応用展開可能性を交えて紹介する。

皮膚感覚の分子メカニズムとその応用

株式会社マンダム 藤田 郁尚氏

14:30
～
15:10
20年前、私たちは、皮膚において温度や化粧品による刺激感覚が同じ分子によって感知されているとは想像もしていなかった。1998年、TRPV1というイオンチャネルが、熱だけでなくカプサイシンに反応することが発見され、皮膚感覚の理解が一変した。株式会社マンダムでは、2003年に発見されたTRPA1が、様々な成分による刺激感覚と関係していることを明らかにしてきた。今回、化粧品への応用例も含めて紹介する。

15:10
～
15:25
休憩

「走る喜び」の追及でお客様に「人生の輝き」を

株式会社マツダ 特別顧問 素利 孝久氏

15:25
～
16:25
マツダは、どんな時代でも人の心をワクワクさせるというクルマが本来持つ価値を信じ、「走る喜び」を追求し、カーライフを通してお客様に人生の輝きを提供していきたいと考えている。「走る喜び」は、クルマの単なる高性能・高制御のみで得られるものでなく、人間中心の研究、人間工学/感性工学の研究が重要である。本講演では、これらの弊社の開発の取り組み事例やオープンイノベーションとして産官学での研究・開発の活動を紹介する。

プロダクトデザインにおける感性価値のメトリック

関西学院大学理工学部 教授 長田 典子 先生

16:25
～
17:15
QOL(生活の質)が問われる現代社会において、楽しさや感動といった心の豊かさをもたらす新しい科学技術が求められている。講演では、人の感じ方を定量化し、製品設計に役立つ客観的なものさし(メトリック)を作る感性価値創造研究を紹介する。3Dプリンタ等による個人のものづくりが世界に広まる中、感性価値のメトリックが社会の価値観を先導する役割を果たしている。

17:25
～
18:25
フリーディスカッション

18:25
～
18:30
閉会の挨拶 セミナー副委員長 山原 年